

創立30周年を迎えた 西尾市少年少女発明クラブ

西野町公民館で活動を開始した当時の様子



西尾市少年少女発明クラブは県内で4番目の発明クラブとして、昭和61年に発足しました。現在、毎週土曜日にさくら会館（桜町）で、ボランティア指導員のアドバイスを受けながら、小学3年生～中学1年生のクラブ員が工作などを行っています。

4月の開始式から3月の修了式までに40回ほど活動し、基礎技能の向上と作品作りに取り組んでいます。毎年8月ごろには「少年少女チャレンジ創造コンテスト」（チームで課題に取り組み日本一を目指すコンテスト。通称チャレコン）に参加し、9月には「小中学生創意くふう展」にも出展しています。

今号では、クラブ員や指導員の声、30年間の歩みなどを紹介します。

問合先 生涯学習課（☎55・3515／中央ふれあいセンター内）

発明クラブとは

次代を担う青少年がものづくりに親しむ環境を整えるために公益財団法人発明協会がスタートさせた事業です。現在、全国218か所で行われる発明の意欲を持った約8500人の子どもたちが、自由に発想し、積極的に学びながら活動しています。

30周年記念イベント 「ものづくりと科学を楽しもう」

- 対象** 小学3年生～中学3年生
- 日時** 11月27日（日） 午前10時30分～午後2時35分
- 場所** 中央ふれあいセンター
- 内容** ①リニアモーターで遊ぼう
②液体窒素を使って遊ぼう
③ふしぎな万華鏡を作ろう
④電気のしくみを学ぼう
- 定員** 30人（先着順）
- 参加費** 無料
- 申込・問合先** 11月8日（火）午前9時～18日（金）午後4時に、直接または電話で少年少女発明クラブ事務局（☎56・7676／中央ふれあいセンター内）へ。

30年間の歩み

- 昭和61年 8月28日に発足。西野町公民館で活動を開始。クラブ員64人、指導員20人
- 昭和62年 作品「からくり茶摘み人形」を全国会議に出展
- 昭和63年 内田志保さん（西尾小学校6年生）の作品「くつきりミラ」が全国展でクラブ初の入賞。小中学生創意くふう展を初開催
- 平成4年 公開教室を初開催
- 平成11年 名倉秀樹くん（三和小学校3年生）の作品「カじまん」が全国展で発明協会会長賞を受賞
- 平成12年 活動場所をさくら会館（桜町）に移転
- 平成14年 名倉秀樹くん（三和小学校6年生）がものづくり体験教室全国大会で優秀賞を受賞
- 平成15年 加藤紘明くん（寺津小学校5年生）の作品「物干しハンガー」が全国展で実用新案に登録される。貴島綾音さん（鶴城小学校4年生）がI.P.カルチャー標語で全国最優秀賞を受賞
- 平成17年 愛知万博でものづくりに参加。田口博美さん（鶴城小学校6年生）が市村アイデア賞を受賞



常陸宮殿下と妃殿下に作品を説明する名倉くん



クラブ員・指導員の声

もっと道具が使えるように

福地南部小学校4年生
榊原裕太郎くん



榊原くんと28年度創意くふう展の市長賞受賞作品「じしんひなんBOX」

クラブでいろいろなものを作りました。自由工作で自分で考えたものを作っていると、先生や友達に「何を作っているの」と聞かれます。でも、なかなかうまく説明できません。なんとか説明すると、先生がこうした方がいよとか、この道具の方がいいよと教えてくれます。

お父さんは何か作るときには、最初に図面を描いて、教えてくれます。ぼくも図面を描いて説明できるようになればいいなと思います。先生や友達を作った面白いものを見ると、ぼくも作りたいなと思います。

充電ドライバーを使うのは得意ですが、のこぎりで木を切るのは苦手で、きれいに切れません。発明クラブにはたくさん道具があるので、もっといろいろな道具が使えるようになりたいと思います。

発明クラブで学んだこと

東部中学校1年生
柴川倭くん



電子工作に取り組む柴川くん(左)

クラブに入って今年で4年目です。もともと、ものづくりが好きだったのでクラブに入った理由です。

1年目の小学4年生のときは、道具の使い方を学んだり、基礎工作をしたりしました。2年目は新しい挑戦として、チャレコンに参加しました。チーム最年少で参加した初めてのチャレコンは、経験も浅かったのですが何だか分かりませんでした。3年目の去年のチャレコンでは、キヤプテンになったのでいっそう張り切りしました。いつしかチャレコンは自分の中で夏の恒例行事となりました。4年目となった今年もチャレコンに参加しました。

来年は中学2年生で最後のチャレコンになるので、集大成としていいものを作り、全国大会に出場できるように頑張りたいです。

活動のレベルアップを

指導員 遠山義治さん



クラブ員にアドバイスする遠山さん

指導員になった当時、クラブ員も約30人と少なく、道具などもわずかでした。子どもたちは自分の思いを素直に表現し、作品を完成させていました。私はとにかく材料を集め、子どもたちが作りたいものを製作できるように努めました。最初は、教えようという意識でしたが、子どもたちと同じ目線で一緒に活動した方が互いに楽しく、勉強にもなり、やる気を高めることができると感じました。

あれから20年近くが過ぎましたが、活動がレベルアップしているとは思えません。何か不足しているような気がします。指導員としてのレベルアップ、誰もが同じ判断をできるようなマニュアル作り、能力や年齢、経験に応じた作品製作ができる体制作り、継続者のレベルアップなどに取り組み、クラブ員の力量を向上していきたいと思います。

クラブ員を毎年2月に募集しています。次回の募集は、29年度の新小学3年生から新中学2年生までが対象です。申込方法は、広報にしお2月1日号でお知らせします。



少年少女チャレンジ創造コンテスト地区予選

- 平成18年 創立20周年記念事業を開催
 - 平成19年 加藤紘明くん(寺津中学校3年生)の作品「回転流し灯籠」が特許を取得
 - 平成27年 企画運営委員の稲垣邦松氏(県発明協会理事)が全国発明表彰で発明奨励功労賞を受賞
 - 平成28年 創立30周年。クラブ員70人、指導員32人。11月27日(日)に記念行事を開催
 - ※年表中の学年は当時のもの
- 1年間の行事・活動**
- 4月 公開教室、開始式
 - 5月～9月 基礎工作、応用工作
 - 8月 親子工作月間、チャレコン地区予選
 - 9月 小中学生創意くふう展
 - 9月～2月 自由工作
 - 11月 社会見学
 - 2月 来年度会員募集、作品展
 - 3月 修了式